



マツナガの入浴補助用具

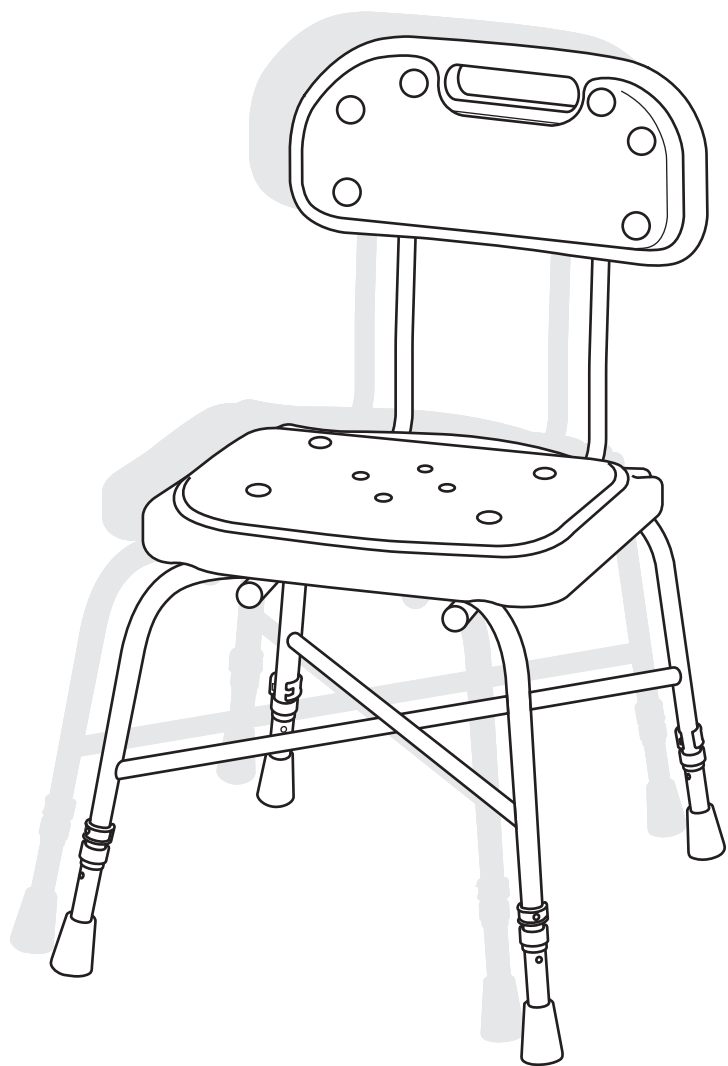
シャワーいす

シリーズ

取扱説明書

保存用

保証書付



愛の輪
愛のいす



MATSUNAGA

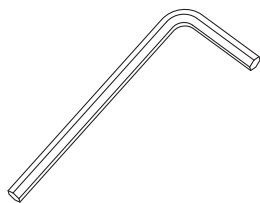
このたびは、(株)松永製作所のシャワーいすをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明してあります。ご使用になる前に、必ずお読みください。
また、保証書が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

付属品



取扱説明書



六角レンチ 1本
(対辺4mm)

目次

安全にお使いになるためのご注意	1
機種別各部の名称	3
部品一覧表	3
組み立て方法	4
SC-11・12・13の組み立て	4
SC-21・22・23の組み立て	5
背もたれを外して使用したいとき	6
クッションの取付け方	6
クッションの外し方	6
使用方法	7
座面の高さ調整	7
持ち運び方	7
シャワーフックの使用方法	7
もしこんなトラブルが発生したときは	8
お手入れの方法	8
保管場所	8
保証・アフターサービス・保証書	9

安全にお使いになるためのご注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。



警告

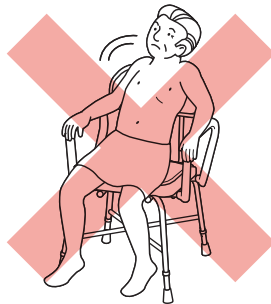
- 故障・異常のあるときは、直ちに使用を中止してください。
転倒・転落事故の原因となります。
- 本品を他の用途で使用しないでください。
事故の原因となります。
- 改造をしないでください。
本体の正常な仕様でなくなるため、事故の原因となります。
- 座面や肘掛け（グリップ）の上に立ったり、脚を掛けたり、飛び乗ったりしないでください。
転倒・転落等事故の原因となります。
- 故意に揺すらないでください。
転倒事故の原因となります。
- 本品に2人以上同時に乗らないでください。
転倒・転落等事故の原因となります。

(禁止)

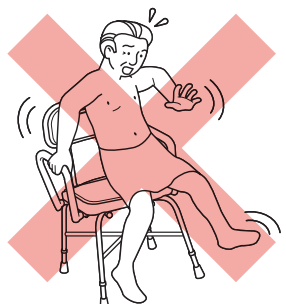


しては
いけない

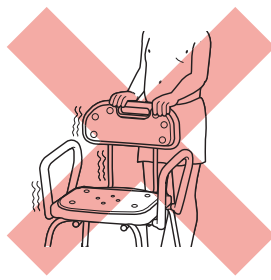
- 上体を後方に大きくのけぞり、背もたれに体重をかけすぎないでください。
(転倒事故の原因となります。)



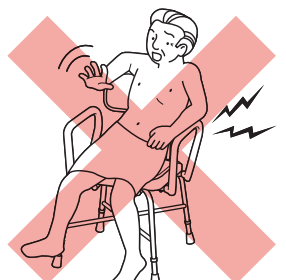
- 座る時や立ち上がる時、肘掛け（グリップ）や座面の片側だけに手をついて支えにしないでください。
(転倒事故の原因となります。)



- 背もたれを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。
(転倒事故の原因となります。)



- 上体を横方向に大きく傾けるなどして、本体の片側や、肘掛け（グリップ）に無理な荷重をかけないでください。
(転倒事故や、破損してケガをする原因となります。)



警告

(強制)



必ずして
いただく

- 使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添ってください。
転倒・転落等事故の原因となります。
- ご使用前に全てのネジが緩んでいないことを確認してください。
緩んでいた場合は、付属の六角レンチを用いて、完全に締め付けてください。
転倒・転落等事故の原因となります。
- ご使用前に、4本の脚パイプが全て同じ高さに設定されており、高さ調整ピンが確実に
固定されていることを確認してください。
転倒・転落等事故の原因となります。
- 浴室床面の平らな面でご使用ください。
不安定な場所では、転倒事故の原因となります。
- シャワーヘッド部の熱くなる部分が体に触れないような向きで、シャワーを
シャワーフックに差し込んでください。
やけどの原因となります。

注意

(禁止)



しては
いけない

- 体重が100kgを超える方は、使用しないでください。
破損して事故の原因となります。
- 本品を水中に沈めたり、水中で使用しないでください。
座面が浮き上がり不安定になるため、ケガをする原因となります。
また、パイプの腐食の原因となり、破損してケガをする原因となります。
- 塩素系薬剤、酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジンによる殺菌・消毒や、
温泉水、硫黄系入浴剤をかけての使用はしないでください。
パイプの腐食の原因や樹脂部品の劣化につながり、破損してケガをする原因となります。
- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等、塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は
使用しないでください。
樹脂が劣化または破損して、ケガをする原因となります。
- 熱湯をかけないでください。
樹脂部品が変形し、破損してケガをする原因となります。
- 直射日光に当てないでください。
樹脂部品が劣化（変形または変質）し、破損してケガをする原因となります。
- 火気に近づけないでください。
樹脂部品が燃え、火災の原因となります。また、本体が熱くなり、やけどの原因となります。
- 屋外では使用しないでください。
事故の原因となります。

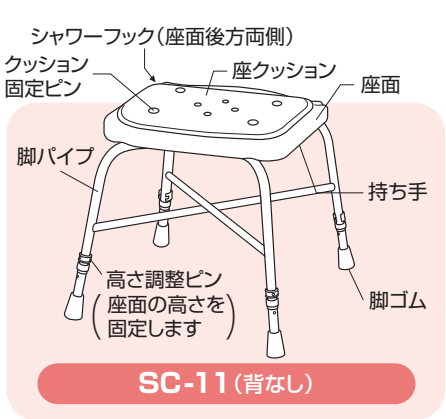
(強制)



必ずして
いただく

- ご使用前に、脚ゴムが確実に取付けられていることを確認してください。
滑りやすくなり、転倒事故の原因となります。また、浴室床面が傷付く原因となります。
- ご使用前、ご使用後は、本品や床に付いた石けんやシャンプーを洗い流してください。
石けんやシャンプーが付いていると、滑りやすくなり、転倒事故の原因となります。

機種別各部の名称



部品一覧表

部品	座面	座クッション	背もたれ	背クッション	クッション固定ピン	脚パイプ	背パイプ	ローグリップ	ハイグリップ
機種									
SC-11			—	—	4		—	—	—
SC-12			—	—	4		—	○	—
SC-13			—	—	4		—	—	○
SC-21	○	○	○	○	10	○	○	—	—
SC-22			○	○	10		○	○	—
SC-23			○	○	10		○	—	○

部品	ネジ M6×35	ネジ M6×40	ネジ M6×60	保護カバー	六角レンチ4mm	取説
機種						
SC-11	4	1	—			
SC-12	12	1	—			
SC-13	12	1	—			
SC-21	4	1	4	○	○	○
SC-22	12	1	4			
SC-23	12	1	4			

※ 固定する場所により長さが異なります。
次ページからの組み立て方法をお読み下さい。

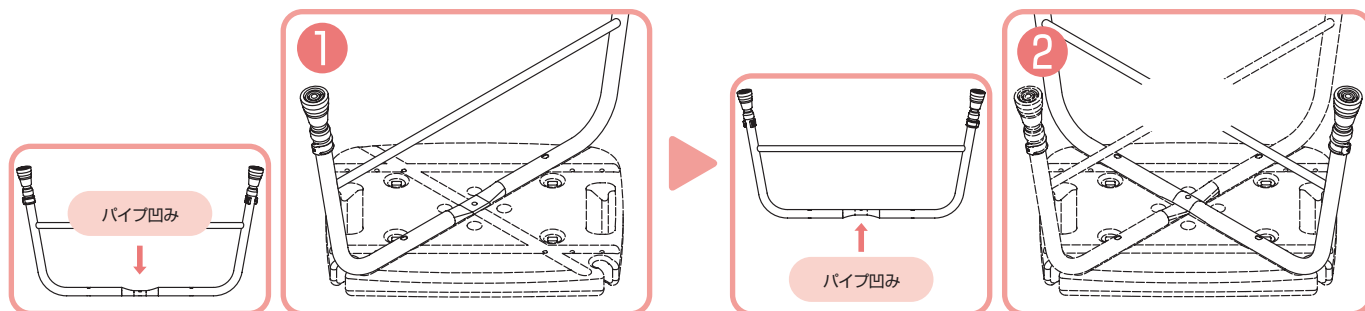
※ 数字は、部品数が複数個の場合の
個数を表しています。

組み立て方法

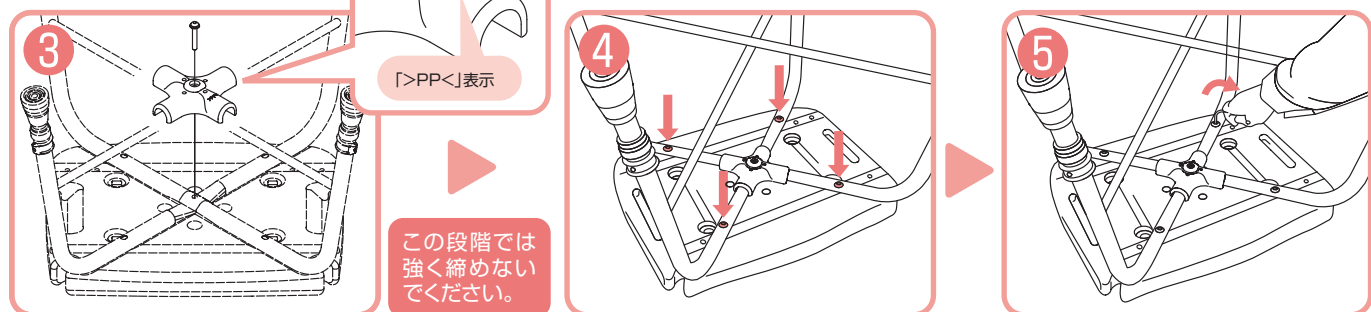
SC-11・12・13の組み立て

使用工具 付属の対辺4mm六角レンチ

- ① 座面を裏返してください。
図のように溝に合わせて脚パイプを置きます。
- ② もう一方の脚パイプを補強パイプをさけ、くぐらせて
図のように溝に合わせて置きます。



- ③ 保護カバーをはめ、
ネジM6×40で
仮止めしてください。
- ④ 残りの脚パイプの穴4ヶ所に
ネジM6×35で仮止めしてく
ださい。
- ⑤ 付属の六角レンチを用いて
仮止めしたネジ(5本)を締め
て、固定します。



注意

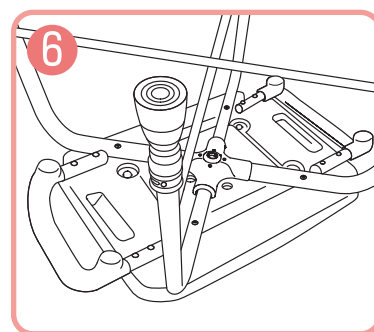
●保護カバーには向きがあります。図のようにパイプの重なりが上側になる方に「>PP<」表示を合わせてください。

※適正トルク
4Nm

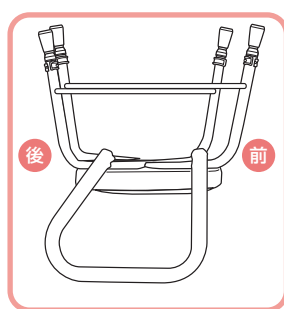
していただく

SC-12・13の場合は次へ

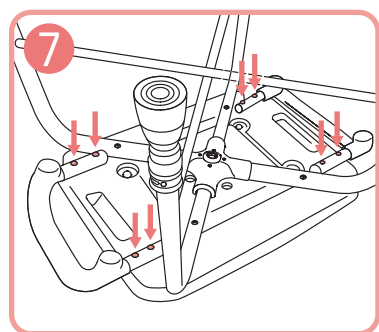
- ⑥ 溝に合わせて、グリップを置
きます。



※ハイグリップの場合は、前後の
向きがありますので、ご注意く
ださい。



- ⑦ グリップパイプの穴(8ヶ所)に、
ネジM6×35を仮止めして
ください。



この段階では
強く締めない
でください。

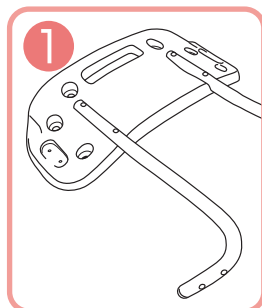
- ⑧ 付属の六角レンチを用いて仮止めしたネジ(8本)を締めて、固定します。

※適正トルク 4Nm

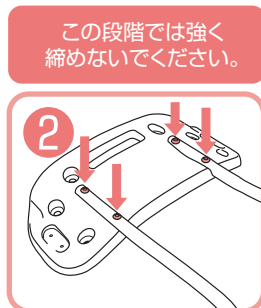
SC-21・22・23の組み立て

使用工具 付属の対辺4mm六角レンチ

- ① 背もたれを裏返して、溝に合わせて背パイプを置きます。

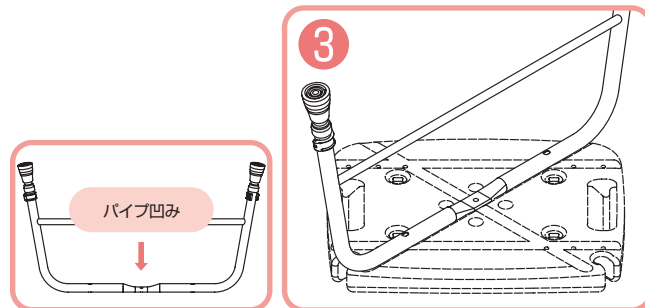


- ② 背パイプの穴(4ヶ所)にネジM6×35で仮止めしてください。

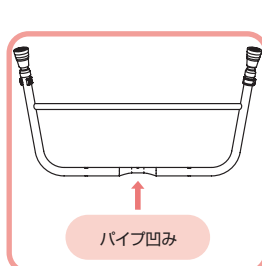


この段階では強く締めないでください。

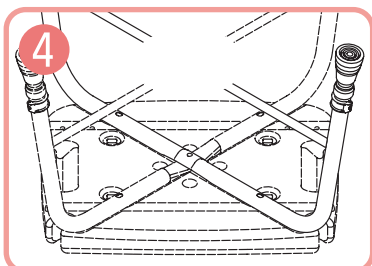
- ③ 座面を裏返してください。図のように溝に合わせて脚パイプを置きます。



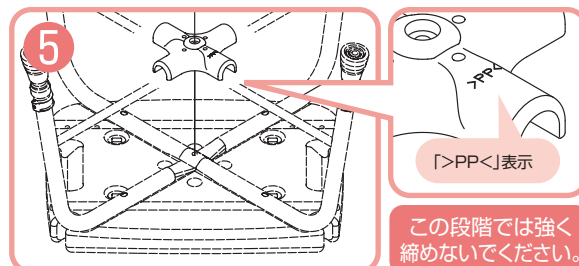
- ④ もう一方の脚パイプを補強パイプをさけ、くぐらせて図のように溝に合わせて置きます。



パイプ凹み



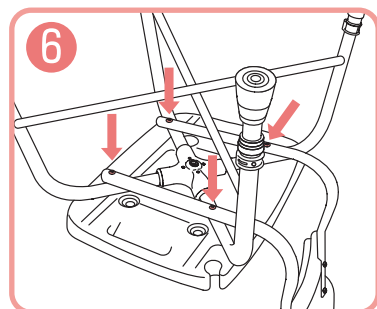
- ⑤ 保護カバーをはめ、ネジM6×40で仮止めしてください。



「>PP<」表示

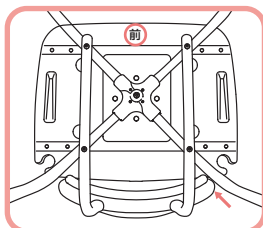
この段階では強く締めないでください。

- ⑥ 残りの脚パイプの穴(4ヶ所)に背パイプの穴を合わせ、ネジM6×60で仮止めしてください。

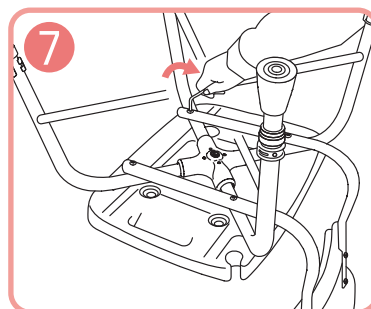


この段階では強く締めないでください。

※座パッド裏面の刻印「前」で、前後を確認の上、後ろ側に背もたれを付けます。



- ⑦ 付属の六角レンチを用いて仮止めしたネジ(9本)を締めて、固定します。

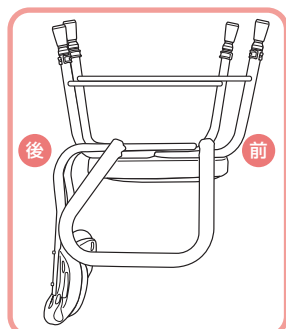
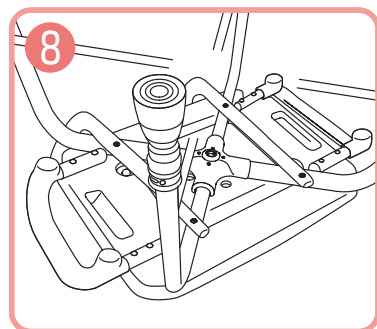


※適正トルク
4Nm

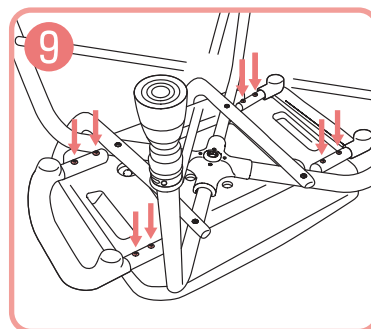
SC-22・23の場合は次へ

- ⑧ 溝に合わせて、グリップを置きます。

※ハイグリップの場合は、前後の向きがありますので、ご注意ください。



- ⑨ グリップパイプの穴(8ヶ所)に、ネジM6×35を仮止めしてください。



この段階では強く締めないでください。

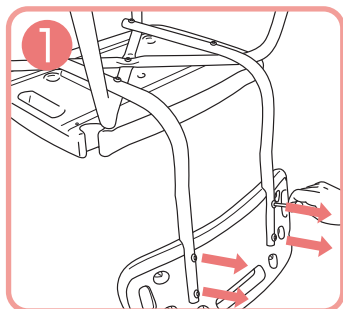
- ⑩ 付属の六角レンチを用いて仮止めしたネジ(8本)を締めて、固定します。

※適正トルク 4Nm

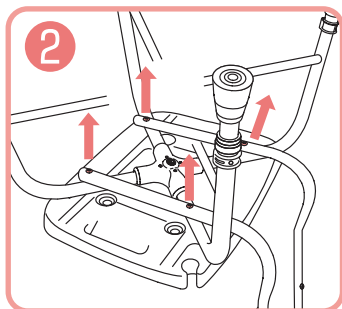
背もたれを外して使用したいとき

●背もたれを外すことによって、「背なし」タイプとして使用していただけます。

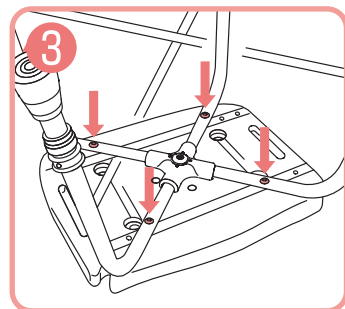
① 背もたれを固定しているネジM6×35(4本)を外します。



② 座面に固定している背パイプのネジM6×60(4本)を外します。



③ 背もたれから外したネジM6×35(4本)で座面と脚パイプを仮止めします。



④ 付属の六角レンチを用いて仮止めしたネジ(4本)を締めて、固定します。

※適正トルク 4Nm



警告

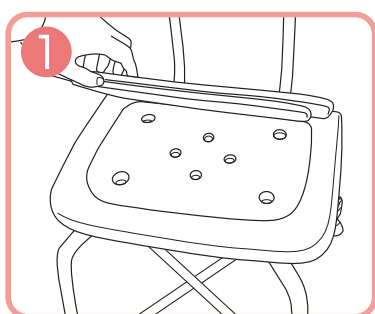
●全てのネジが、しっかりと固定されているか、必ず確認してください。
(転倒・転落等事故の原因となります。)

していただく

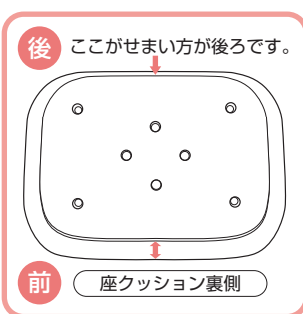
クッションの取付け方

〈座クッション〉

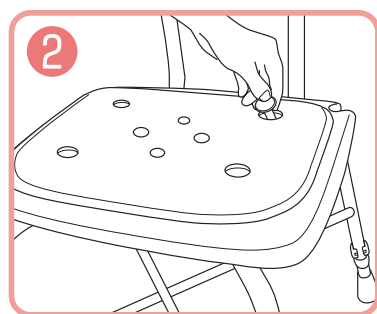
① 座面の溝と穴位置に合わせて、座クッションを置きます。



※座クッションは、前後方向にご注意ください。



② クッション固定ピンをクッションの外側の穴4ヶ所に差し込み、奥まで押さえます。



〈背クッション〉

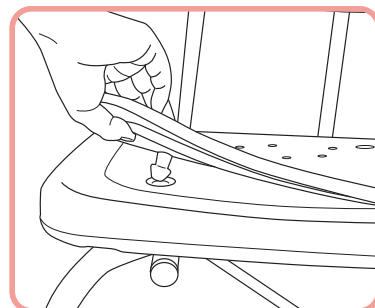
① 背もたれの溝と穴位置に合わせて、背クッションを置きます。

② クッション固定ピンをクッションの穴6個に差し込み、奥まで押さえます。

クッションの外し方

●クッションを外して、洗うことができます。
また、クッションを交換することができます。

クッション固定ピンとクッションを一緒に外してください。

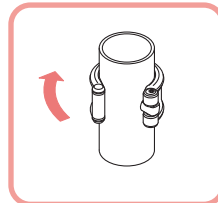


使用方法

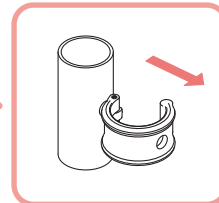
座面の高さ調整

- 座面の高さを370・390・410・430・450・470・490・510mmの8段階に調整することができます。
- 使用者や介助者の使いやすい高さに合わせてください。また、浴槽縁の高さに座面の高さを合わせることで、浴槽内への出入りが楽になります。

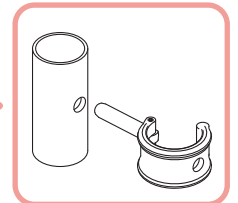
高さ調整ピンの取り外し方



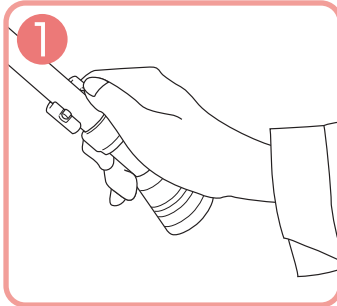
指を引っかけて矢印方向に回転させます。



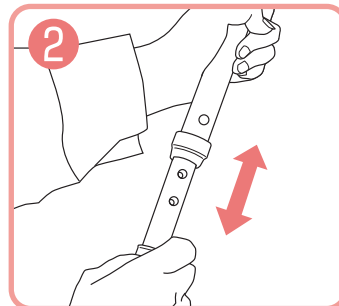
引き抜きます。



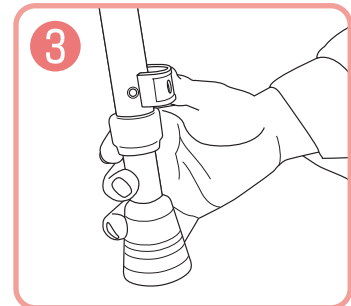
- ① 高さ調整ピンを取り外します。



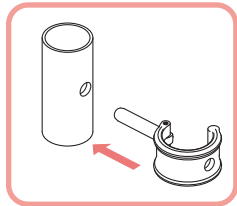
- ② 高さ調整パイプをスライドさせ、穴位置を合わせます。



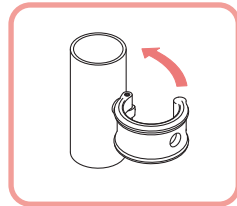
- ③ 高さ調整ピンを取りつけます。



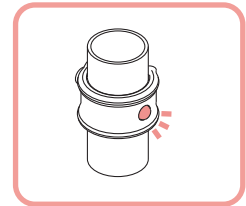
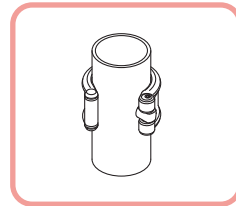
高さ調整ピンの取り付け方



穴にピンを差し込みます。



矢印方向に回転させます。



反対側の穴にピンの頭が出ていることを確認します。

警告

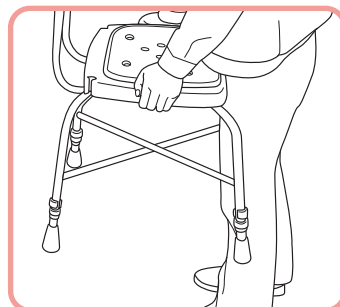
- 4本の脚パイプが全て同じ高さに設定されており、高さ調整ピンが確実に固定されていることを確認してください。(転倒、転落等事故の原因となります。)

していただく

持ち運び方

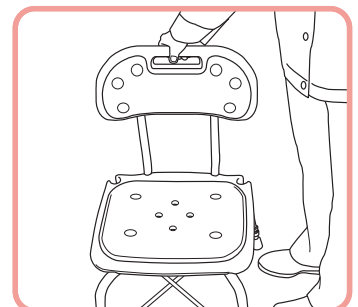
〈座面を持つ場合〉

座面裏側にある持ち手(くぼみ)を持ってください。



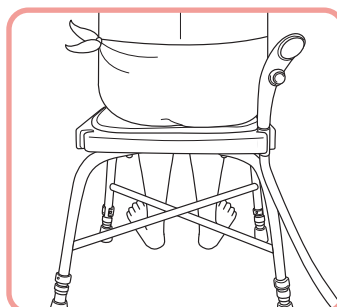
〈背もたれを持つ場合〉

背もたれ上方にある持ち手を持ってください。



シャワーフックの使用方法

- 洗体の途中、座面に備え付けのシャワーフックにシャワーを掛けてご使用いただくと、シャワーにすぐ手が届き、便利です。



警告

- シャワーヘッド部の熱くなる部分が体に触れないような向きで、シャワーをシャワーフックに差し込んでください。(やけどの原因となります。)

していただく

もしこんなトラブルが発生したときは

ご使用されていて故障かな、と思うトラブルが発生したら、修理を依頼する前に下記項目を確認してください。

ト ラ ブ ル	確 認 点	対 処(参照ページ)
シャワーいすがガタつく	ネジが緩んでいませんか	全てのネジを締め直してください(P4・5)
	脚パイプは4本とも同じ高さに設定されていますか	4本の脚パイプをすべて同じ高さに設定してください
	不安定な場所で使用していませんか	平らな床面で使用してください
	脚ゴムは外れかけていませんか	まっすぐに奥まではめ直してください
グリップがガタつく	ネジが緩んでいませんか	全てのネジを締め直してください(P4・5)

お手入れの方法

■使用後は、石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。

※汚れのひどい場合は、適量にうすめた中性洗剤を含ませた布で拭き、汚れをきれいに拭き取ってください。

消毒する場合は、逆性石けんをうすめて使用してください。

その後、きれいな水で、洗剤を洗い流してください。

■最後に、固く絞った布で水を拭き取り、日陰の通気性の良い所で乾燥させてください。

⚠ 注意

●塩素系薬剤、酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジンによる殺菌・消毒や、温泉水、硫黄系入浴剤をかけての使用はしないでください。
(パイプの腐食の原因や樹脂部品の劣化につながり、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等、塩素系洗剤・シンナー・クレゾール等は使用しないでください。
(樹脂が劣化または、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

●熱湯をかけないでください。
(樹脂部品が変形し、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

●直射日光に当てないでください。
(樹脂部分が劣化(変形または変質)し、破損してケガをする原因となります。)

してはいけない

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。故障の原因となります。

- 雨に濡れるところ ●直射日光が当たるようなところ ●湿気の多いところ
- 高温になるところ(45度以上) ●炎天下 ●水の中

◆仕様・寸法 (単位:m/m)

	SC-11	SC-12	SC-13	SC-21	SC-22	SC-23
全 幅	430~440	530	470	430~440	530	470
奥 行	425~440	425~440	425~440	485~495	485~495	485~495
高 さ	370~510	370~510	560~700	700~840	700~840	700~840
重 量	2.1kg	2.7kg	3.2kg	3.2kg	3.8kg	4.5kg
材 質	・フレーム：アルミ合金 ・座面/背面：ポリエチレン(抗菌仕様) ・クッション：EVA樹脂(抗菌仕様)					
座面寸法	幅400×奥行320					
座 高	370~510(20mm間隔8段階)					

保証

- 保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 1. 火災、天災による故障・損傷の場合
 2. 取扱説明書に記載の使用方法・ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
 3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
 4. 消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
 5. 修理に要した運賃等の諸経費
- この保証書は日本国内のみ有効です。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または(株)松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。

愛の輪
愛のいす



MATSUNAGA

株式会社 松 永 製 作 所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484

TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270

URL <https://www.matsunaga-w.co.jp>